

活動名 ぎおん遊び隊	団体名	祇園まちづくりプランプロジェクト
	地域	広島県広島市
	代表者	代表 安岡 志之夫
	支援金額	25万円
活動概要		
<p>小学生親子を対象に、農作業や武田山登山などの自然体験活動を通じて祇園のまちを見て知って好きになるための事業。</p> <p>農作業については、もち米(田植え～稲刈り、わらを使ったしめ縄づくり、餅つき)を育てると共に、季節の野菜(たまねぎ、大根、じゃがいも、人参など)を種まきから収穫まで体験してもらった。また、作った野菜を使って豚汁を作って食べたり、さつまいもの食べ方を参加者同士で紹介しあう場の提供を行った。</p> <p>地域を知る活動としては、安川緑道が昔はどのような場所であったか、説明をしながら歩いたり、武田山の史跡を学習しながら登山を実施した。</p> <p><b>◆実施時期</b> 2015/5/16～2016/1/16 (全14回) 場所:おやこ農園 (安佐南区青原片山)、武田山、祇園公民館</p> <p><b>◆参加人数</b> 小学生とその保護者 21組 58名 (通年の参加) 広島経済大学留学生 延べ20名 (半期で交代)</p> <p style="text-align: right;">参加総人員 : 78名</p>		



稲刈り



芋掘り



留学生とも活動



集合写真

#### ◆実施に伴う効果

親子揃って農作業や登山を行い、自分が住んでいる地域の良さや自然・食べ物の大切さを学んでもらうことができた。子どもだけでなく、保護者世代が初めて体験することも多かったため、大人のよい学習機会も提供することができた。また、スタッフも講座の準備～実施まで、定例会議を月1回行い、スムーズな運営方法の検討など、積極的に事業にかかわり、地域住民との交流という当初の目的を達成することができた。

#### ◆苦勞した点

- ・ 田んぼの稲の雀被害  
試行錯誤の末、田んぼ全面に網を張ることで解決した。収穫大幅UP。
- ・ 事業参加希望者の人数調整  
長年行っている事業であるが、参加者の募集方法を従来の先着順から、往復はがきで申し込みの抽選にした。参加希望者が定員の倍ほど申込みがあったが、スタッフの人数や畑の広さの都合上、定員を増員することができなかつたので、選に漏れた方から残念がる声が多く聞かれた。
- ・ 保護者の事業参加への意識  
子どもに体験活動をさせたいという思いと、その様子を写真に撮っておきたい思いが先行し、作業参加への関心が薄い保護者が見られた。親子での体験活動なので、共に動いてほしいという思いがあるが、意識改革をしてもらう誘導が難しかった。

#### ◆今後の課題・発展の方向性

- ・ 今後の課題  
①畑(農作物)への水の確保に苦慮している。現状は、近所の方のご協力により、水道水をもらって散水しているが、今後は自然水の取込みを考えて行く必要あり。  
②夏場の日よけ場所が無いこと及びトイレが無いこと  
上記課題①②は当面の検討課題となっており、場合によっては再度貴ご支援に応募させて頂く可能性がある。
- ・ 発展の方向性  
活動に参加している子供達とその保護者に、より主体性を持って行動(従事)して頂くように指導していきたい。(自分の家庭菜園と云う認識を持ってもらう。)

#### ◆活動を終えての感想・意見等

マツダ財団様の社会貢献活動に対する支援制度には敬服申し上げます。今回のご支援で、私達の‘ぎおん遊び隊’の活動が勢いづいたことに感謝します。

尚、地道に活動を続けていけば、資金的に困った時にご支援頂ける可能性の道が開けたことで希望が持てたように思います。